（表）

工　場　・　危　険　物　調　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 建築主の氏名 |  | 工事種別 | 新築、増築、改築、移転、用途変更、その他 |
| 建築位置 |  |
| 用途地域 |  | 防火地域 | 防火、準防火、指定なし |
| 工　　　　場　　　　調　　　　書 |
|  | 申請部分 | 申請以外の部分 | 合計 | 作　業　場　の　面　積 |
| 敷地面積 |  |  |  | 申請部分 | 申請以外の部分 | 合計 |
| 建築面積 |  |  |  |  |  |  |
| 延べ面積 |  |  |  |  |  |  |
| 業種 |  | 原料名 |  | 製品名 |  |
| 申請部分の用途 |  |  |
| 作業方法 |  |
| 危険物 | 　□　裏面危険物調書による　　　□　なし |
| 設　　備　　の　　概　　要 |  | 機　　械　　の　　種　　類 | 台数 | 出力（キロワット） |
| 新　　　設 |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |
| 概　　　要 |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

（裏）

|  |
| --- |
| 危　　　険　　　物　　　調　　　書 |
| 事業内容 |  | 敷地面積 |  |
| 建築物の延べ面積 |  | 貯蔵場の延べ面積 |  | 処理場の延べ面積 |  |
|  | 危　 険　 物　 の　 種　 類　 等 | 危険物の貯蔵量及び処理数 |
| 種類 | 類別・品名 | 性質 | 用途 | 最大貯蔵量 | 係数 | 最大処理量 | 係数 |
| 地　上 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 地　下 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 危険物の貯蔵処理方法その他の参考となる事項 |

　注　１　工作物の場合は、「建築主」を「築造主」と、「建築位置」を「築造位置」と、「建築面積」を「築造面積」と読み替えて記入すること。

　　　２　「業種」の欄には、工場業態が分かるように記入すること。

　　　３　「原料名」の欄には、工場に搬入する原料の品名を記入すること。

　　　４　「作業方法」の欄には、原料から製品に至るまでの作業の流れの図解を記入すること。（機械の種類、原料名、製品名を付記すること。）

　　　５　「危険物の種類等」の欄には、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号。以下「政令」という。）第116条第１項の表、消防法（昭和23年法律第186号）別表及び危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）別表第３に掲げる名称を記入すること。

　　　６　「危険物の貯蔵量及び処理量」の「係数」の欄には、準住居地域、商業地域又は準工業地域内に建築又は築造する場合に限り、政令第130条の９第１項の表の用途地域の欄に定める数量を１として、それに対する比を記入すること。

　　　７　単位は、メートル法による。